

本会議場での演説の実施

1 趣 旨

令和7年8月20日から22日にかけて、横浜市で第9回アフリカ開発会議（TICAD9）が開催されます。この機会を捉え、横浜市会としてアフリカの政府首脳をお迎えして、本会議場での演説を実施します。

2 演説者

ケニア共和国 ウィリアム・サモエイ・ルト大統領

3 実施日時

令和7年8月20日（水）11時20分～12時20分

4 実施方法（案）

- (1) 市会の歓迎行事として、議長が執り行う。各議員へは議長名をもって案内の通知を発送する。
- (2) 演説は本会議場演壇で英語により行い、日本語による同時通訳を実施する。なお、各席に同時通訳のレシーバーを置く。
- (3) 演説前に議長からはじめの辞、演説後に副議長からおわりの辞を本会議場演壇で行う。
- (4) 演説者及び正副議長は、議員席から見て右側の当局席最前列に着席する。
- (5) 議員席は会派割とし、各会派において指定する。ただし、交渉会派団長及び日本アフリカ友好横浜市会議員連盟会長の席は議員席最前列とする。
- (6) 市長・副市長には出席を要請し、席は当局席とする。また、区・局・統括本部長にも出席を要請し、席は傍聴席とする。
- (7) 横浜市立横浜商業高等学校の生徒及び「横浜からアフリカにつながる学生プロジェクト」に参加の大学生等を演説聴講者として迎える。席は傍聴席とする。また、横浜市立横浜商業高等学校の代表生徒による演説者への花束の贈呈を行う。
- (8) ケニア共和国の要請に基づき、国会議員並びに公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会事務総長及び参与を演説聴講者として迎える。席は当局席とする。
- (9) 取材・報道のための写真撮影等の取扱いについては、本会議の際の取扱いに準じることとする。ただし、ケニア共和国の要請により取材を行う報道関係者の取扱いは、市政記者と同様とする。
- (10) インターネット中継（生中継及び録画配信）を実施する。音声は、演説者による演説の際は、日本語訳音声を主、演説者音声を副として、日英二重音声により行う。
録画配信についてはAIによる音声認識システムを活用した字幕を表示する。字幕表示の実施方法は、「インターネット中継における字幕の表示」（市会運営委員会決定（令和7年5月14日））における実施方法に準じることとする。
- (11) 演説原稿（日本語訳）については、後日、議員室に配付する。
- (12) 本会議場正面のスクリーンに、ケニア共和国国旗及び日本国国旗を投影する。

5 当日の進行次第（案）

(1) 議場演説（6階本会議場）＜11時20分～11時55分＞

《議場演説の流れ》

- ・ ルト大統領 入場、着席 〔議員席から見て左側の扉から入場〕
↓
 { ※入場から着席までの間、起立してケニア共和国国旗（席上配付）を掲げてください。
- ・ はじめの辞（渋谷議長） （3分程度（日英同時通訳））
↓
- ・ 演 説（ルト大統領） （20分程度（日英同時通訳））
↓
 { ※登壇から演説開始までの間、着席のまま拍手願います。
 ※演説終了後、起立して拍手願います。
- ・ 花束贈呈（横浜商業高校代表生徒） （2分程度）
↓
- ・ おわりの辞（尾崎副議長） （2分程度（日英同時通訳））
↓
- ・ ルト大統領 退場 〔議員席から見て左側の扉から退場〕
 { ※退場の間、起立して拍手願います。
 ※ルト大統領退場後、司会者から議員の皆様の退席のタイミングをお知らせします。

(2) 事後懇談、記念品贈呈及び写真撮影（6階ホワイエ）＜12時～12時20分＞

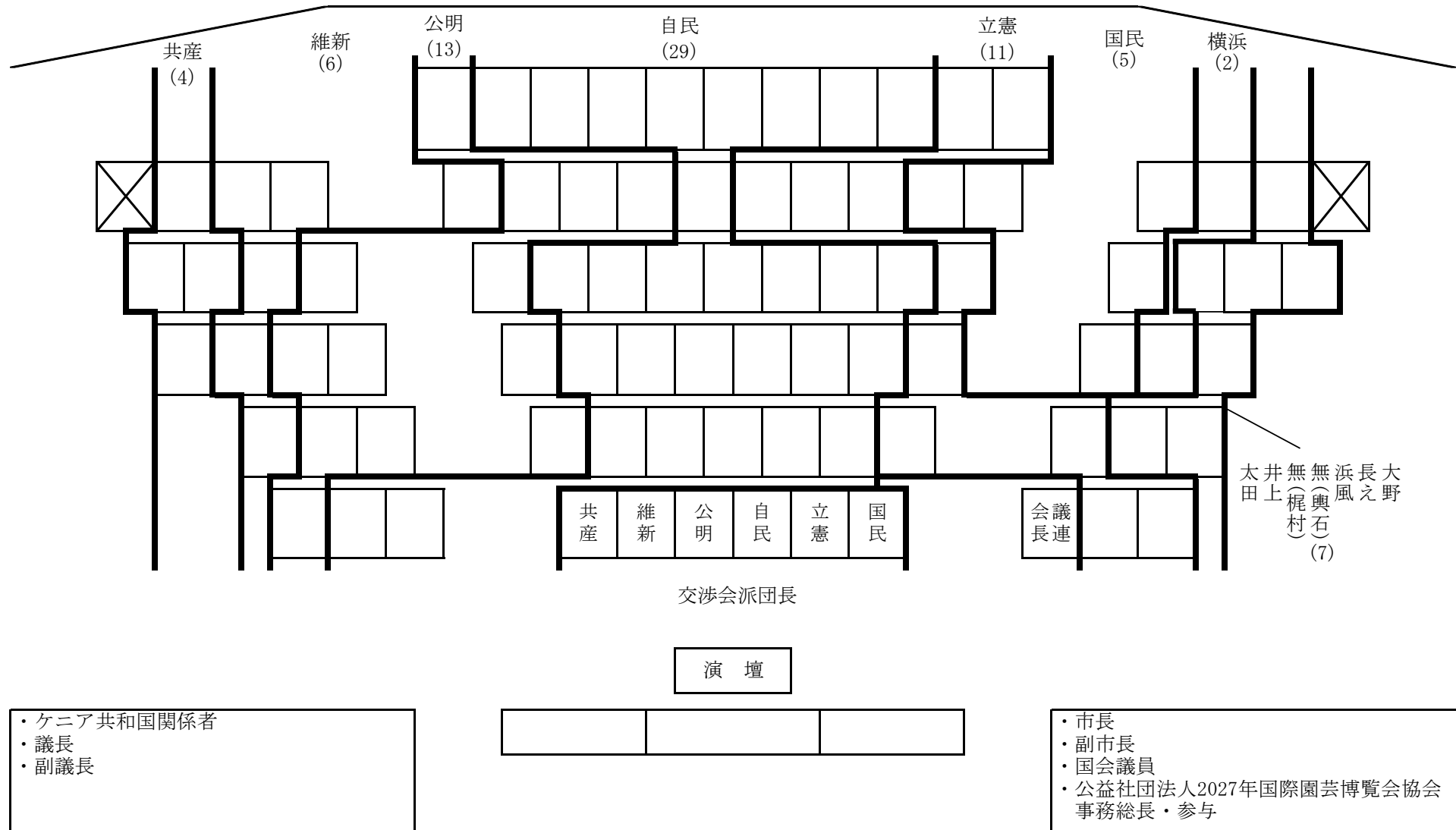
[出席者]

- ・ ケニア共和国：ルト大統領ほか
- ・ 横浜市：正副議長、市長、交渉会派団長、日本アフリカ友好横浜市会議員連盟会長、議会局長、国際局長
- ・ 来 賓：国会議員、公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会事務総長及び参与

6 その他

- (1) 議場内では上着、ネクタイの着用をお願いします。
- (2) 演説者は11時20分に本会議場に入場予定ですので、入場10分前の11時10分には着席するようお願いします。入場10分前に議事堂内放送、直前に振鈴で周知します。
- (3) 議員席に演説者の経歴、ケニア共和国の概要及びケニア共和国と横浜市との関係についての資料を配付します。
- (4) 議場演説開始前に、ケニア共和国と横浜市の次世代交流の取組実績に関する動画を本会議場内で放映します。
- (5) 議員が議場演説の際のメモ等のために電子機器（パソコン・タブレット端末・スマートフォン）を使用すること及び写真撮影をすることは可とします。

市 会 歡 迎 行 事 座 席 表 (案)



※ 8月19日（火）17時までに議会局へ氏名提出